なかまして

平成２７年７月３日　　中野方こども園

＊夏のお楽しみ会に向けてどんどん支度が進んでいるようです＊

園のリーダーのぞう組さんは雰囲気つくりで、すてきな提灯を作って廊下に飾って涼しそうです。お客さんや小さい子たちに自分たちで作った券をプレゼントしてみんなが来てくれることを心待ちにもしています。
ぱんだ組さんは元気いっぱい　みぎかたあがり音頭の、かけ声が素晴らしい！「わっしょい　わっしょい」「ぴーひゃらぴーひゃら」夏の夜空に響きそうです。うさぎ組さんはお兄さんやお姉さんが作ってくれた券を掛けるため紐編みの助手！上手に編んでもらう為には「ぎゅつ」と力を入れて真剣に紐を持ちます。ひよこ組さんは踊りの輪の中であっちを見たりこっちを見たり、時には自分のお気に入りの振りを真似してくるくる回って楽しそう。テラスを歩きながら♪「がんばれぇ～がんばれぇ～」と、小さい子たちはこんなふうにして、先輩のやるところを見ながら次は自分たちがやってあげるんだ！大きくなるよ！と思っているんじゃあないかな～中野方こども園のお楽しみ会に向けてそれぞれがいろんな思いで取り組んでいます。今年はみぎかたあがりで、みんなの力で、がんばるよ！

＊今この時こそ、こどもたちが伸びる時＊

お楽しみ会の話をお家でどんどんして下さい。「それからどうなったの？」「すごいねがんばったね」と、こどもとの会話は一つひとつを大切に受けとめて、そのものに答えてあげましょう。ある本で（内田玲子先生）会話はキャツチボールで・・・ドッチボールでは、こどもの心は折れてしまいますよ。こどもは親に認めて貰いたい、自分の頑張りを見てほしい、応援してほしいという気持ちでいっぱいです。とありました。キャツチボールとドッチボール・・・わかる気がしますよね。お父さん、お母さんの一言でこどもはやる気をだすか、自信がなくなるか決まってしまうのです。私たち保育者も同じです。お家でも園でもキャツチボールの会話でこどもの心がいやされ、自分の存在に自信をもち、生きる力になるように・・忙しい日々とは思いますが、会話のキャツチボールには、そんなに時間はかかりません。お願いします。

＊♪ピンポンパンポン～♪「お昼の放送をはじめます」＊

自園給食をしている中野方こども園は給食がおいしいです。これは、間違いありません！地元の食材、給食先生の料理の腕前プラス愛情！いろんな事が混ぜ合わさって、おいしい給食に繋がっています。嬉しいですね。
不動滝に出荷された新鮮な野菜、プリプリたまごが園の給食室に届きます。そこで・・「今日のスープの中に入っている玉葱、人参は4区の鈴村栄子さんが作ってくださいました。食べてみて下さい。」と放送すると、こどもたちは、「そのおばさん知っとる～おじいちゃんの友だちやに～」とか「えいこさんの味がするね～」と、それぞれが自分の中で思いを巡らせて苦手な野菜があっても口に運んで自分で食べようとしています。自然に食育となり、野菜の好きな子が増えています。地域の方たちのおかげで心も体も大きくなっています。

＊夏の味を美味しく頂きました＊

栃植年久さん（松美ちゃん光代ちゃんのおじいさん）に夏の味とうもろこしを頂いて食べました。親指を前に突き出して「うまい！」の一言「いつもよりうまいあじがした」と、こどもたちの感想でした。ありがとうございました。